

# 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立高部屋小学校
-----	-------------

## 1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことが概ねできている。</li> <li>・送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことが概ねできている。</li> <li>・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することが概ねできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</li> <li>・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。</li> <li>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることが概ねできている。</li> <li>・伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることが概ねできている。</li> <li>・正方形の意味や性質について概ね理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正三角形の意味や性質についての理解。</li> <li>・百分率で表された割合についての理解。</li> <li>・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を毎日食べている児童が多い。</li> <li>・将来の夢や目標をもっている児童が多い。</li> <li>・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。</li> <li>・学校に行くのが楽しいと思っている児童が多い。</li> <li>・国語や算数などの学習は大切で、将来、社会に出たときに役立つと思っている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生によいところを認めてもらっていると感じながら、自分のよさに自信が持てない児童がある程度いたこと。</li> <li>・読書や新聞を読むなど、活字に親しむ機会が少ない児童が多いこと。</li> <li>・基本的な生活習慣である起床や就寝の時刻が安定していない児童がある程度いたこと。</li> </ul>

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指していくとともに、自分の考えをまとめるための学習活動の充実を図る必要がある。そのために、繰り返し学習を継続的に取り入れていく。

【国語】他と比較したり、根拠を基にしたりしながら自分の考えをもち、友達と共有できる活動をこれまで以上に増やしていく。

【算数】学習のめあてを毎時間確認してから問いに取り組んだり、関連する学習を始める前や途中で振り返りの練習問題に取り組んだりする。既習の練習問題に継続的に取り組むことで、基礎学力の定着を図り、課題を解決できる経験を増やしていく。

自己肯定感を高めることができるよう、全ての教科において「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を意識し、互いの考えを共有できる活動を中心に、児童自身が自ら考える活動を意識的に取り入れる取り組みをしていくことで、主体的・対話的で深い学びとなる授業を充実させていく。

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・質問紙調査から、いじめはどんなことがあってもいけないこと、学校で学習する内容は将来、役に立つと考え意欲的に取り組んでいることがうかがわれます。

・コンピュータやスマートフォン、タブレットなどICT機器に接する機会が多くなっています。もちろんそのような機器に触れ、いろいろな文化を知ることとはとても大切なことです。国語の学習の大切さを理解している児童が多いにもかかわらず、本や新聞を読む機会はあまり多くないようです。想像力を深めたり、語彙を増やしたりするためにも、活字に親しむことはとても重要です。ご家族で読書日記をつけたり、新聞の内容を話し合ったりすることも良い機会になると思います。

・学校に来ることが楽しい、普段の生活の中で幸せな気持ちになると感じることができるのも家庭や地域で子どもの見守り、健やかな成長を支えていただいているからだと考えています。たくさんのご協力に感謝申し上げます。引き続き家庭や地域と学校が連携し、それぞれの役割を果たしていくことができれば幸いです。